



させほ夢大学

発行●公益社団法人 させほ夢大学
編集委員会
事務局 / 〒857-0863
長崎県佐世保市三浦町4-30・松蔵ビル3F
TEL.0956-25-9555 FAX.0956-25-9545
http://www.yumedai.com/
E-mail:sasebo_yumedai@yahoo.co.jp

開催ご案内 25-9556

夢のつづき

させほ夢大学会報

No.274 (2018・11)

平成30年度
第7回

2018年 **11月4日(日)**

アルカスSASEBO 大ホール

●開場 12:20
●夢のひろば 12:50
●講演 13:20

「いい質問ですねえ!」と明るい笑顔で語りかけられる池上彰さん。

「世界一受けたい授業」、「グッド! モーニング」、「池上彰のニュース そうだったのか!!」、「メディアのめ」など多数の出演番組で超多忙なスケジュールの中、させほ夢大学の講師としてお迎えすることが実現しました!!

池上さんは、慶應義塾大学経済学部卒業後、NHKに記者として入局されました。首都圏ニュースを担当していた頃から「ニュースは、なんでこんなに難しい言い方をするんだろう」と思っていた池上氏。1994年から2005年まで「週刊こどもニュース」の編集長兼キャ



スターを担当された際「ニュースってこんなにわかりやすくできるんだということを示せば、大人も見てくれるんじゃないか」という思いで番組を作り、話題となりました。その思いは、多数の著書や、大人気を誇る様々なテレビ番組で、今も貫かれています。

現在は、日本を代表するジャーナリストとして多方面で活躍されながら、東京工業大学特命教授など、複数の大学の客員教授を務めておられます。

今回の夢大学では、私たちがおかれている今の状況を、「分かり易く」解説していただけることでしょう。どうぞご期待ください。

講 師 ● ジャーナリスト
東京工業大学特命教授 **池上 彰氏**

テーマ ● **新聞からニュースを読み解く**

**11月の講演会は4日(日曜日)です。
開場時間等も変更になっています。**

池上 彰氏のプロフィール

●1950年長野県松本市生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業後、1973年NHKに記者として入局。松江・広島放送局を経て1979年東京報道局社会部で事件・事故・災害・消費者問題・教育問題を取材。1994年「週刊こどもニュース」キャスターを担当し注目を集める。2005年独立しフリージャーナリストに。現在はテレビ、新聞、雑誌、書籍など幅広い分野で活動、名城大学等7つの大学で「教養」も教える。「そうだったのか!現代史」「伝える力」「学び続ける力」など著書多数。



次回のご案内

- と き / **12月13日(第二木曜)**
- 講 師 / 映画字幕翻訳者 **戸田 奈津子氏**
- テーマ / **夢を追いかけて**

●東京都出身、津田塾大学英文科卒。好きな映画と英語を生かせる職業、字幕づくりを志すが門は狭く、OL生活やフリーの翻訳をしながらチャンスを待つ。1970年「野生の少年」「小さな約束」などの字幕を担当。のち1980年の話題作「地獄の黙示録」で本格的なプロとなり、以来1,500本以上の作品を手掛ける。主な映画字幕作品は「ET」「フォレスト・ガンプ」「タイタニック」「ラスト・サムライ」「ミッション・インポッシブル」。著書に「字幕の中に人生」「スクリーンに向こう側」等あり。



山形由美氏



苦手意識を乗り越えること
佐世保市大和町 山嶺 知瑞子

以前より心ひかれていたフルートの音色。その奏者が本日の講師というので心待ちにしていた。開始前半、清楚な装いのスラリとした姿で登壇された氏に、一瞬釘付け。それから終始静かな温かみのある語り口に興味津々で聞き入った。幼少期から何事もひたすら努力を重ね、周囲の人達からのアドバイスを真剣に受け止めた。結果、運と縁を持ち前の実力が功を奏し、更には苦手な分野にも果敢にチャ

レンジし、苦手意識を乗り越えることの大切さと同時に自信につながったという。まさに「努力あってこそその天才なり」と痛感した。

後半では装いも一転、ローズピンクカラーのドレスがよくお似合いで、フルートを奏するその姿が何とも美しく、指の先から全身へとしなやかに流れるような透明感のある音色。まるで夢心地のような時間はあっという間に過ぎた。幸福な時間を本当に有難うございました。

素適な秋の夜
佐世保市大宮町 吉次 公子

理事長の御挨拶はいつもユーモアがあって笑いを誘われますが、思い違いの「つもり」は、うなずく事ばかり。とても面白く聞かせて戴きました。

そして芸術の秋にふさわしい十月。講師はフルート奏者山形由美さん。お話と演奏を楽しみにしていました。

講師御自身の音楽生活を色々お話しされましたが、その中でフルートと出合い、大学で専攻され、英国留学によ

って研鑽を積まれて、国内はもとより海外での御活躍。素晴らしいですね。

管楽器としてのフルートの構造、そして、息と唇の使い方によって美しい音色を表現出来る事など教えていただきました。

お話の後、演奏されたフルートによる数々の名曲、その音色の美しさ、演奏される講師の美しさ、すっかり引き込まれました。テーマのとおり、本当に素敵な秋の夜でした。

講師のますますの御活躍をお祈り致します。有難うございました。



■登場された途端に、生花にも負けない美しい容姿で華麗な経歴を話された後、希少なフルートから流れる音色に心酔してしまいました。70歳の手習いで始めてみようかと錯覚してしまう程、癒されました。ピアノとの二重奏、素晴らしかったです。

佐世保市祇園町●那須 啓子

■今日の演奏をイメージしたお花のテーマは「音色」。五線譜に音符という感じでピッタリでした。フルートの構造の説明もあり、1本かと思っていたら三つに分かれていたのですね、びっくりです。後半は華やかな衣装で、曲の説明もあり、温かく優しい音色の演奏でした。

佐世保市松山町●本山 早苗

■バレエをされていたらしく、スタイルも立ち姿もきれいでした。ご自分がフルートを始めた時のことを話され、次々と色々なご縁があり、テレビでも活躍され、本も書かれていたとは。今日は、フルートとピアノの音楽会を聞いて、夢大学に感謝です。秋の素敵な夜でした。

佐世保市木風町●西 照美

■今回初めて、山形由美さんのお話と演奏を拝聴。前半の講演では、「フルートがあったから多くのものと出会い、結び付けてくれた」とのお言葉が印象的でした。

後半のコンサート、特に日本の曲目「映画 寅さんのテーマソング」と「ふるさと」に、「音楽は先人が残した歴史。かつ後世に残すべき懐かしい思い出で、過去を振り返る親の教えそのもの」と感じました。

佐世保市早苗町●牧 千尋

■山形さんの優しい音色も芦川さんの力強い響きも、急逝の友のレクイエムと重なりました。命の尊さや儂い人生を思い、今後一歩ずつ踏み締めて過ごそうと思いました。

佐世保市比良町●岡井 眞紀

■おだやかな語りで前半が終わり、楽しい演奏の時間。澄み切ったフルートの音色、音楽を楽しみながらゆったりと時間を過ごし、満足したひと時。山形由美さんのフルートで幸せいっぱいになりました。

佐世保市大宮町●田中 美祐

■秋の気配を感じながら、会場へ向かい着席して、講演が始まるのを待ちました。いつもとちょっと違った本日のステージ。やさしい感じのお花が飾られ、登壇された講師。マイクの前にスクッと立たれた様子、素敵でした。あの立ち姿はやっぱりバレエをなされた方ですね。フルートの調べもやさしく最後までやさしい音色に抱かれたまま、気持ち穏やかに会場を出ました。

佐世保市赤崎町●木村 典子

■毎回楽しみに参加しています。ただ一つだけ残念なことがあります。講演中のマナーは良いのですが、講師の話が終わらないうちに席を立ち、帰る方がありました(6月21日の事)。

最後の挨拶が終わってから立たれると、より良い夢大学講演となるでしょう。本日もアンコール拍手の中、帰る方がありました。残念です。

佐世保市吉井町●松瀬 恵美子

夢のひろば

- ◆日時／11月4日(日) 12:50～13:10
- ◆演目／バンド演奏 オールディーズ
- ◆出演／ヒロミ アンド ザ スカイライナーズ
山崎広美 (女性ボーカル)、信永 翔 (男性ボーカル)
本川晋也 (ギター)、松江晴彦 (サクソ)
信永剛志 (ベース)、泊 喜一 (ドラム)
隈元 駿 (ピアノ)

◆出演者紹介

佐世保市上京町のバー「グッドタイムズロール」にて毎週水曜日と月末土曜日に活動するオールディーズバンド「ヒロミ アンド ザ スカイライナーズ」です。店内はもちろんの事、各種宴会、ホテル、ビアホールなど出張演奏もおこなっています。よろしくお願い致します。

◆曲目 (解説)

- カラーに口紅…アメリカオールディーズの歌姫コニー・フランシスの名曲。私達は1962年弘田三枝子さんバージョンで演奏。
- バケーション…同じくコニー・フランシスの代表曲。弘田三枝子さんバージョン。
- ワイプアウト…ベンチャーズの代表曲。
- 恋のバカンス…ザ・ビーナッツの名曲、私達は女性ボーカル一人のため、弘田三枝子さんバージョン。
- 監獄ロック…1950年代エルビス・プレスリーのロックンロール曲。

美しすぎるフルーティスト ～天は二物を与えた～

人と人々を結ぶフルートの音色
北松浦部佐々町 法本 安子

今年のさせぼ夢大学も半分を終え、後半の今日の講師はフルーティスト山形由美さん。

講演の前のいつもの理事長さんの挨拶、話題は多岐にわたり、今日は何を話されるか楽しみの一つ。「つもり違い十か条」肝に銘じておきたい。味わい深い人生における教訓となる、耳が痛くなる言葉ばかりで、頭の片隅に置いておくことにします。有難うございました。

美しすぎるフルーティストの登壇、生い立ちからフルートとの出会い、デビューに至るまで、その後の活動状況な

どを話された。その美しい立ち姿も綺麗でフルートが凄く似合っています。第一人者にふさわしく、それはプラチナでダイヤも散りばめられているという。

ふれあいコンサートは、フルートとピアノの若川真理子さんとの共演八曲、それぞれに解説を加えながら、最後の映画で巡る世界一周メドレーは、耳に馴染んだ曲ばかりで豊かで美しい音色が伝わってきました。

アンコールは、「ふるさと」をみんなで合唱。フルートの音色で人と人々を結ぶのタイトルにふさわしく、九十九詩人の歌詞に歌われているように、教えられ、聞かされ、手

講演を聴かれた感想をお待ちしています！

渡され心満たされて家路にきました。

新しいことに挑戦

佐世保市景坪町 太郎浦 幸子

清楚な感じのいでたちでのご登壇に、会場には大きな拍手の渦が起る。デビューされてから32年、自分の生き方を見つめ音楽のある暮らしを楽しんでおられる毎日。新しいことに挑戦され淡々と新しい気持ちを持つとも言われた。

小さい頃からバレエが好きで夢中になっておられたが、御親戚の結婚披露宴でのピアノとフルートの演奏に魅せられ、其の面白さを発見し精進された由。フルートとの出会いが今の自分を育て、また多くの人々との出会いが出来たと言われた。

芸術の秋は スター由美さんの



素敵なフルートで 心豊かに♪

演奏活動のみならずデビュー15周年に当たり自分史の執筆に挑戦し、それが評価されると、新しいものには挑戦なさるとか。今はタヒチアンダンスに挑んでおられる由。あの素晴らしいドレスで演奏された方の、もう一つの姿も拝見したいものである。

秋の夜にフルートの音色

西松浦部有田町 庄村 雅子

秋の夕暮れに響くフルートの音色は、ゆったりと満ちたりたひと時でした。ベニスの謝肉祭の曲は他の楽器でも聴きましたが、フルートの音色は一段と冴えてとても感動しました。ダブルターニングの演奏、舌を使った複雑な音は素晴らしく、うっとりとした聴き入りしました。前半はシックな黒の装いで、後半は真っ赤な

お出かけください！

させぼ夢大学では、今年もアルカスSASEBOの共催を得て、第16回「バラの折紙ツリー」を、12月1日(出)から12月25日(火)までアルカス2階ロビーに展示します。

12月1日(出)には「ツリー点灯式」と「ロビーコンサート」を行います。どうぞお誘い合わせの上、お出かけください。

日時 ■ 12月1日(土) 午後5時～6時
場所 ■ アルカスSASEBO 1階ロビー



※締め切りは講演日の1週間後(必着)
※宛先は、させぼ夢大学事務局まで

ドレスを纏い、プラチナ、18金、ダイヤの最高のフルートはライトに当たるとキラキラ輝き、山形由美さんは妖精のように見えました。ドビュッシーの「小舟にて」は、舟の揺らぎを想像して聞いていました。

ステージのお花は音色を表現してあるとのこと。今日の演奏会に良く合っていて、とても良かったと思えました。

毎回、近藤理事長さんのお話も楽しみで、日々の生活に役に立っています。毎月の夢大学がとても楽しみです。



三基の特異な橋梁

吉井エコツーリズムガイド
和田 隆

三基の橋梁は、選定理由のほかにも特異な点がある。それは「太平洋戦争のさなか」という建設時期に由来する。

三基のアーチ橋は戦時中の昭和十六年から十九年にかけて建設され、二十年三月に鉄道として供用された。戦時下で兵器や軍艦などの製造が最優先され金属資源が不足していたため、鉄筋ならぬ「竹筋」が使用されている、と伝えられていた。

その探査のため、平成十六年に工学院大学（東京都新宿区）建築学科の調査チームが来町し、地形上調査が困難な吉田橋梁を除く二基を対象に、「電磁波レコーダー探査」と「コンクリ

ート圧縮強度推定の反発度測定」の非破壊検査が行われた。

その結果、吉井川橋梁は「橋脚部分及びアーチリブや充腹部のすべてに非金属の物質による配筋を確認」。一方の福井川橋梁は「橋脚部分はほぼ無筋で、橋脚上部の透かし部分に非金属の物質三〜九本を確認」と報告された。

設計図や建設中の写真もなく、かつ「非破壊」という困難な条件下ではあったが、吉井川橋梁は大部分が「竹筋」、福井川橋梁は大部分が「無筋」と結論づけられた。

全国の古いコンクリート構築物を調査している同チームから、次のことも付言された。

「戦時中までに建設されたコンクリートアーチ橋で現役のものは、全国でこの三基のみ」と。

吉井町を走る鉄道路線内に連続する、現在の技術基準では考えられない現役の橋梁群。それは、鉄道には険しい地形と、戦時下という厳しい時代が生んだ、特異な構築物なのである。



【出典】 福井川橋梁、佐世保市
CCライセンス (<http://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>)

吉井町の中央部西側をかすめるように湾曲して「松浦鉄道」が走っている。その鉄道には、佐々川とその支流福井川が合流する付近から福井川に沿って、三基のコンクリートアーチ橋が架かっている。「吉井川橋梁（四連アーチ） 佐々川（市立吉井中学校付近）」「吉田橋梁（五連アーチ） 福井川（元前岳炭鉱跡付近）」「福井川橋梁（三連アーチ）（大里整形外科医院付近）一キロメートルの区間にあるこれら橋梁群は、平成十八年に国の「登録有形文化財」に選定された。その理由は「わが国の近代化に貢献し、今後も国の発展に貢献しうる貴重な構築物」とされている。

事務局だより

★山形由美さん、ありがとうございます
ございました

シックな黒のスーツ姿で講演され、一転して演奏の際は鮮やかなマゼンタのドレスで登場された山形さん。やさしく可憐なフルートの音色は、芦川真理子さんのピアノと絶妙なコンビネーションでした。最後は会場と一つになった「ふるさと」の合唱で、大いに盛り上がりました。

山形さんは、音楽は演奏者だけでなく、会場の皆さんと一体となって作り上げるものと言われ、夢大学の会員の皆さんのマナーの良さを誉めておられました。

★館内の空調について

アルカスSASEBO大ホールの空調は、部分的な調整ができません。できる限りの対応をしていますが、フロア及び座席の位置によっではかなりの温度差があります。十分に準備をされた上でご出席ください。

★マナーについて

- させば夢大学の品位ある会員として、以下の点を今一度ご確認ください。
- ①スマホや携帯電話等「電子機器類の電源は、確実にお切りください」。
- ②座席取りはおやめください。
- ③講演や演奏中の私語は謹んでください。
- ④写真撮影及び録音・録画は禁止です(著作権法の関係上)。
- ⑤ホール内での飲食はできません。

★お知らせ

- ①1階会場の最後尾列に、車イス等の方のために優先者席をご用意しています。
- ご希望の方は、早めのご来場をお願いします。
- ②入場後に万一会場を出られる方は、再入場の際にご本人確認のために、学生証カードをいったんお預かりしますので、ご了承ください。
- ③忘れ物にご注意ください。席を立たれる前に、今一度ご自身のお席を確認ください。

★講師の変更について

1月17日(木)の講演会は、講師の都合によりケント・ギルバート氏に変更になりました。

